### 1学区の概況と課題

# さいたま間防災カルテ

## 与野南中学校区

### ◆学区の概要

【位置】中央区の南部に位置し、浦和 区・南区・桜区と隣接している。

【土地利用】学区内には住宅地が広がっ ている。

【交通】学区の西部にJR埼京線と新幹 線、北東部に国道17号、南西部に は新幹線が走っている。

#### ◆学区の位置



#### ◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震		関東平野北西縁断層帯地震		東京湾北部地震	
最大震度	6強	(6.3)	6弱	(5.9)	6弱	(5.8)
最小震度	6強	(6.0)	6弱	(5.5)	5強	(5.4)
死者	55人	(0.2%)	4人	(O.O%)	1人	(O.O%)
負傷者	173人	(0.7%)	41人	(0.2%)	25人	(O.1%)
避難者	3,849人	(15.2%)	398人	(1.6%)	207人	(0.8%)
全壤建物棟数	1,136 棟	(18.7%)	76 棟	(1.3%)	23 棟	(0.4%)
うち焼失棟数	654 棟	(10.8%)	32 棟	(0.5%)	1 棟	(O.O%)
半壊建物棟数	1,135 棟	(18.7%)	420 棟	(6.9%)	359 棟	(5.9%)
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	0 棟	〇棟	〇棟	〇棟	〇棟	1,171 棟
床下浸水建物棟数	〇棟	〇棟	〇棟	〇棟	〇棟	476 棟

【地震】さいたま市直下地震では最大震度6強となっており、地区の40%弱

【水害】鴨川等(鴻沼川)が氾濫した場合、地区の25%以上が浸水被害を受け

が全壊・半壊の被害を受け、地区の約10%にあたる建物は焼失す

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

#### ◆人口概況 (平成22年国勢調査)

		与野南中学校区	全市平均
人	総人口	25,342人	
	O-14歳	3,482人 (14%)	(14%)
	15-64歳	17,018人 (67%)	(67%)
	65歳以上	4,841人 (19%)	(19%)
	人口密度	11,583人/k㎡	5,766人/km²

19% 14% 67% 人口割合は全市平均とほぼ等しい一方、人口密度は高い。

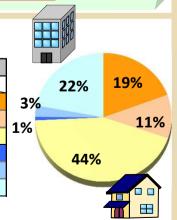
◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

る恐れがある。

種別	名称
避難場所	与野南中学校、与野南小学校、大戸小学校、鈴谷小学校、大戸公民館
一時•広域避難場所	鈴谷西公園、与野中央公園、鈴谷東公園
市•区役所等窓口	
消防署•出張所	
警察署•交番	
救急病院	
<b>応急給水場所</b>	与野南中学校、鈴谷小学校

#### ◆建物概況(平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

		与野南中学校区	全市平均
	総建物棟数	6,065棟	
建物	木造(昭和46年以前)	1,170棟(19%)	(17%)
	木造(昭和47-55年)	666棟(11%)	(12%)
	木造(昭和56年以後)	2,666棟 (44%)	(45%)
	非木造(昭和46年以前)	51棟 (1%)	(1%)
	非木造(昭和47-55年)	173棟 (3%)	(3%)
	非木造(昭和56年以後)	1,339棟 (22%)	(21%)



建物の割合は全市平均とほぼ同等である。

#### ◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、耐震化率の向上が必要。

【水害】地域に水害の危険性が高いエリアがあり、迅速な情報伝達体制や、自 主防災組織等による安全な避難体制の構築が必要。

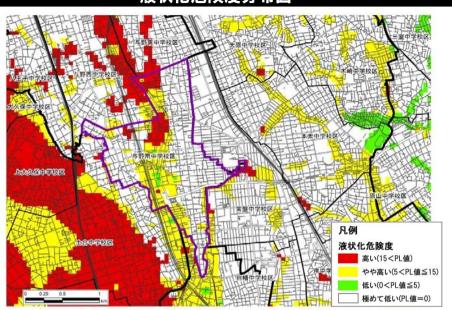
【避難】人口密度が高い地域のため、円滑な避難誘導の実施が必要。

# ②さいたま市直下地震の想定 さいたま市 防災力ルテ

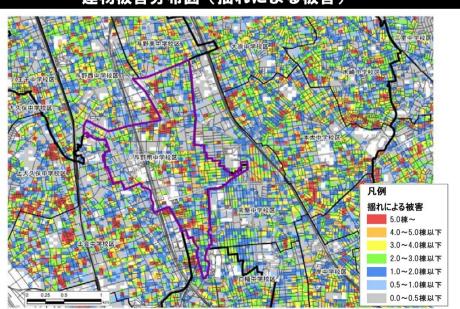
# 与野南中学校区



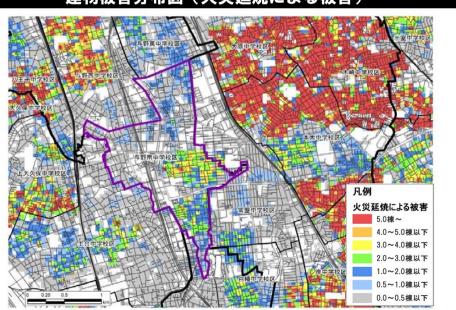
### 液状化危険度分布図



建物被害分布図(揺れによる被害)



建物被害分布図(火災延焼による被害



05-02-2

# ③防災マップ

# さいたま間防災カルテ

## 与野南中学校区



